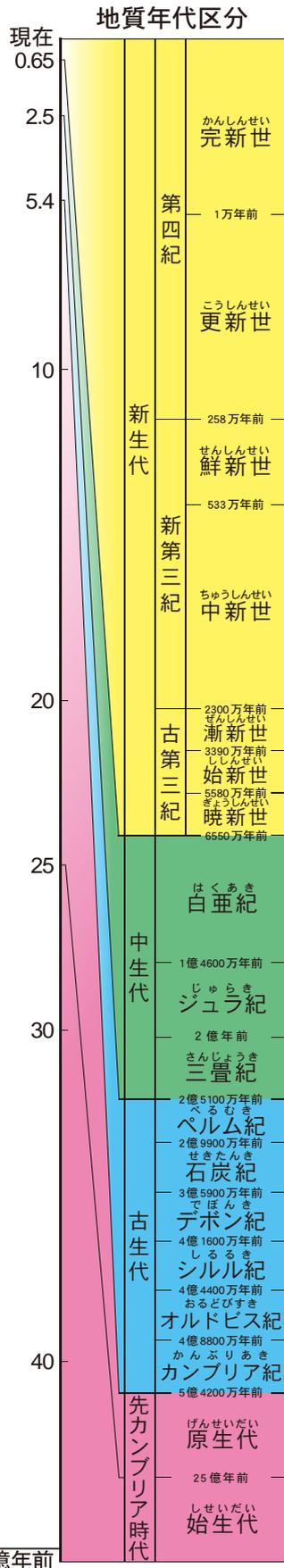


茨城の地史



島弧の時代

日本の土台となった地層が大陸東縁でできた時代

霞ヶ浦の形成

つくば市周辺の
ナウマンソウ

下総層群 (古東京湾)

多賀層群

男体山火山角礫岩 ① (日本海拡大時の火山活動)
浅川層 (熱帯～暖温帯の貝類・植物化石)
北田気層, 九面層 ②
白土層群
湯長谷層群

白水層群

大洗層 (陸成層, 植物化石)

筑波山花こう岩類 ③

那珂湊層群 ④ (海成層, アンモナイト化石)

阿武隈深成岩類

八溝深成岩類

筑波山から八溝山にかけてのジュラ紀付加体
(海洋プレート上の堆積物)

日立古生層 (堆積岩とそれに付随する玄武岩)

大雄院花こう岩類 ⑤

日立変成岩類 (日本最古の地層)



① 男体山火山角礫岩 (袋田の滝)



② 九面層 (五浦海岸)



③ 筑波山花こう岩類



④ 那珂湊層群



⑤ 大雄院花こう岩類 (日立鉾山)